

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 ● 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 ● 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な場面から書くことを見付ける方法を提示する。簡単な構成、文と文をつなげる言葉について具体的に指導し、体験したことなど日常生活の中で、書く機会を多く設ける。 ● 教科書教材の原典や発展教材の図書を紹介・読み聞かせて読書につなげられるようにする。読みの過程では、自分で文章をしっかりと読めるように、文章にあった多様な読み方を行えるようにしていく。また、必要な語彙や言葉の意味も伝えながら、自分で文の内容を理解できる力を育てていく。 ● 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもったり、文章を読んで感じたことを共有し合ったりする ● 物語文では、登場人物の気持ちなど想像したことをノートやワークシートに書いたり、友達に伝え合ったりして、言葉のもつよさを感じ取らせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ● 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、それに係る技能を身に付ける。 ● 数の数え方や計算の仕方、形の構成、量の大きさの比べ方を考える力や、データの個数から特徴を捉える力を身に付ける。 ● 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら、学ぼうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体物や半具体物（算数ブロック）を用いた操作活動を十分に取り入れて、視覚的に理解できるようにする。 ● 言葉で発したり、ペアで問題を出し合ったりなど、活動を通して学べるよう工夫する。 ● 計算スキルや計算練習カードを用いて、計算練習に繰り返し取り組むことができるようにする。 ● 毎時間まとめを児童の言葉で示したり、個人、グループ、集団と学び方を効果的に組み合わせたりする。立式までの考え方や図形の組み立てについて、互いに説明する機会を設定することで、考える力を伸ばすようにする。 ● 今までの学習した課題と何が違うのか考えさせる。課題解決の時に児童がつぶやいた言葉を板書する。立式までの考え方や図形の組み立てについて、説明する機会を設定することで、考える力を伸ばすようにする。授業後の板書を確認しながら、学習の振り返りを行う。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。 ● 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現する。 ● 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛け、すすんで関わろうとする意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気付いたことや考えたこと、見付けたことや楽しかったこと、分からないことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり振り返ったりする場を計画的に取り入れる。 ● 対象となるものとじっくり向き合う時間を確保し、見たり考えたりする着眼点を伝えることで、観察する活動を充実させる。 ● 気付いたことから想像したり、予想したりするなど、自分の考えがもてるように、繰り返し練習する。 ● 自分の身近なこと、興味をもったものなどから学習のきっかけを作り、事前に疑問をもったり、もっと知りたいと思う気持ちをもてるようにしたりするなど、主体的な学習ができるようにする。 ● 家庭との連携を図り、学習したことを生活に生かすことができるよう計画を立てる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ● 歌唱、器楽、創作において基礎的な技能を身に付け、思いや意図をもって表現する。 ● 音楽を形づくっている要素を聴き取り、知覚・感受しながら、表現したり、鑑賞したりする。 ● 楽しく音楽に関わり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自らすすんで取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 拍の流れを感じ取り、拍打ちやリズム打ち、言葉のリズムを感じ取ることができるような学習を常時活動で取り入れる。また、自分の歌声に気を付けて、友達と音色をそろえて歌うことを意識させる。鍵盤ハーモニカや打楽器の基本的な演奏の仕方を指導し、演奏できるようにする。 ● 音楽を形づくっている要素と関わらせて、指導するための板書を工夫し、児童が曲の特徴から、どのように表現したいか例を示しながら、考えさせるようにする。 ● 一人一人が楽しんで取り組み、楽曲のよさを感じることができる教材や、日本の四季を味わうことができる教材を選択して指導する。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象や事象を捉える造形的な視点について気付き、手や身体全体の感覚などを働かせて材料や用具を使い、創造的につくったり表したりできるようにする。 ● 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。 ● つくりだす喜びを味わい、表現したり鑑賞したりする学習活動に楽しく取り組もうとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な用具の使い方や安全な扱い方の練習を重ねるとともに、イメージしたことを自由に表現できる素地をつくる。 ● 自分の作品を楽しく見たり、感じたことを考えさせ、発表したり話し合ったりする時間をとり、色や形、表し方の面白さや材料の感じに気付かせる。 ● 自分で好きな形や色を選び、五感や自分の思い・気持ちを生かしながら楽しく活動できるような教材を選択し、造形活動を工夫する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身の健康に気を付けながら、各領域の運動遊びの楽しさに触れ、行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 ● 各領域の運動遊びの行い方を工夫するとともに、運動のこつや考えたことを他者に伝えるようにする。 ● 各領域の運動にすすんで取り組み、決まりを守り誰とでも仲良く運動したり、健康・安全に留意したりして意欲的に運動する態度が身に付くようにする。 ● 改築工事で校庭が使用不可の現状や、感染症による社会的距離を踏まえ、限られた場所で可能な運動の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 準備運動に多様な運動や体づくり運動を取り入れ、かつ、その場で全員が参加できるゲームを行うことで、楽しみながら運動に取り組めるようにする。 ● 基本的な運動の決まりや約束を伝え、それらを守らせることで、全員が安心感をもって運動に取り組むことができるようにする。2学期以降、ゲーム領域や競争などの活動を通して、勝敗を受け入れられる態度が身に付くよう指導していく。 ● 児童に対して安全への意識を指導するとともに、安全に行える環境を設定して指導を行う。特に、夏場は、こまめな水分補給や休息を取らせる。 ● 友達と関わる機会を多く設定し、ペアやトリオなどのグループ活動を通して、協力して取り組むようにする。 ● 楽しく活動できる運動や場を設定し、力一杯運動する時間を増やし、遊びを通して、自然と体力や運動能力を向上させる。 ● 学習カードなどを通して、工夫や運動のこつなどをまとめ、単元を通して成長を感じられるように工夫する。